

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	茨城県那珂市
本事業の担当部局名	保健福祉部こども課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		ライフデザインサポート事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成30年度
総事業費(A)(円)		2,468,290		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,468,290
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,468,290						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	2,468,290	0	0	0	2,468,290		
	対象経費支出予定額	2,468,290	0	0	0	2,468,290		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の「デジタル田園都市構想総合戦略」における4つの戦略の中に「結婚・出産・子育て応援戦略」がある。そこで「結婚・出産・子育て いい那珂プロジェクト」と題し、①結婚の促進、②安心できる妊娠・出産・子育て環境の提供、③家庭と仕事の両立支援の施策を掲げている。 <本個別事業の位置付け> 過年度に引き続き、中学生にライフデザインを形成する必要性を自身の問題として認識してもらうとともに、のちのライフプランに応じた進学先や就業先を選択する必要性を理解・実践することを可能にし、結婚・出産・子育てなど若い世代の希望を叶える一助とするため、ライフプラン教育を実施する。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	市立中学校8年生に対しライフデザイン講座を実施	中学生にライフデザイン講座を実施し、その中で、考え方や捉え方ひとつで人生は変わるため情報量が少ないと視野が狭くなり額であることや、正しいと思った判断も俯瞰してみると違った見え方ができることもあるため、社会的な環境を伝え、結婚することや子どもを生み育てることの意味や重要性について理解を深められる内容を含めながら、自身のライフプランを描くことが大切であることを知ってもらえるよう内容の精査を毎年実施している。 ・講座(7回)・・・自身の将来(結婚・子育て・キャリア形成等)を考える一助とするため、各講師の経験を交えた講座を実施 ・ワークショップ(7回)・・・事前課題を用いたワーク作業や最新技術の体験など ・対象・・・市内中学校5校 396人 <過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・毎年度、事業実施後に学校教諭へのアンケートを実施し、その結果を委託業者と共有、反映させ、より良い講座をとるよう努めている。					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
	出生者数			人	300 (R8年)	287 (R6年)		
参考指標 ※全事業共通	項目			単位	直近の実績値(時点)			
	合計特殊出生率				1.33 (H30～R4)			
	婚姻件数			件	153 (R5)			
	婚姻率				2.9 (R5)			
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
	番号	項目						
		(アウトプット)						
	①	参加人数(全生徒396人×参加率90%)		人	356 (R8年度)	380 (R7年度)		
	②							
	③							
	④							
	⑤							
		(アウトカム)						
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	—	—		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	—	—		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	—	—		
	④	ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合		%	90 (R9年度)	75 (R6年度)		
	⑤	ライフデザインの大切さを考えさせられた生徒の割合		%	90 (R11年度)	90 (R6年度)		
⑥								
⑦								
⑧								